



●レポーター名
 東城町にお住まいの 山崎 まこと 允さん
 知子さん

私は、東京から東城町川烏に疎開して、中学1年までここで育ちました。阪神大震災の時は、母を頼って、妻と娘二人がここに身を寄せていました。自宅の二重ローンを払い終えた2年前に、震災で心因性の病に侵された娘の療養を目的に引っ越すことになりました。自然が豊か、すべてがスローな田舎の雰囲気彼女に合ったのか笑顔と笑い声が数年ぶりに我が家に戻って来ました。幸いにも、妻は田舎暮らしが気に入り、娘と共に隣さんに教わりながら畑仕事を楽しんでいます。また、神戸で主宰していた「子供バレエ教室」の経験を生かして東城保育所、八幡保育所、八幡小学校でボランティア活動を行っています。

私は、旅行会社で外国人の国内旅行、日本人の南米アマゾン等への秘境地旅行、アメリカ国籍外航船に乗込みカリブ海等への案内をしていました。定年後は、独立行政法人国際協力機構（JICA）に応募しヴィクトリアの滝があるアフリカ・ザンビア共和国で、「観光開発」の仕事をしました。3月24日には、広島の日市港に寄港したクイーンエリザベス号の船客を商店街に案内するボランティアをして来ました。また、帝釈峡の「観光開発」用に八幡地区のお二人の協力を得て帝釈峡観光パンフレットを英文に翻訳し、帝釈峡観光協会のホームページに早速活用してもらっており、外貨獲得に貢献できることを望んでいます。

今後は、妻の「ダンス」、私の「英語」を活かしながら、地元の保育園児から高校生たちが快活な動きと、世界に羽ばたく英語力を養ってもらえるような活動を続けていきたいと思っています。

私たちにできる ボランティア活動

